



こんにちは

村田けい子 です

2017
5.26
No.103

みなさんのご意見・ご要望をお寄せ下さい。フェイスブックやっています。

発行/日本共産党立科町議会議員 村田桂子 立科町塩沢1483 ☎0267(56)2868

共謀罪、自・公・維が衆院で強行可決！

26日夕方佐久地域でいっせいに抗議+撤回を求める宣伝予定

政府を批判する国民運動の監視・萎縮をねらう現代の「治安維持法」、大きく運動を拡げて、参議院での否決をかちとりましょう！



5.21 ツルヤ前での宣伝の様子

19日の衆院法務委員会での強行可決を受けて、21日に、そして23日衆院本会議で可決を受けて、24日に反対する街頭宣伝に取り組みました。

「内心」「相談」そのものを処罰の対象にする「共謀罪」法案。「テロ等対策」を謳っていますが、実際は「等」に力点が置かれた法案で、国民の思想信条・内心の自由・表現・集会の自由などの基本的な市民的権利を制限するもので、完全な憲法違反です。

2017/05/21 しんぶん赤旗電子版

「共謀罪」の人権制約に懸念／国連特別報告者 安倍首相に書簡送付
共謀罪は、国民のプライバシーと基本権利の侵害であると理解。
国連は、安倍総理に対して、直ちに法の撤回をするべきだと勧告をした。

「国連のプライバシー権に関する特別報告者のジョセフ・ケナタッチ氏は18日、「共謀罪」法案について、プライバシーや表現の自由を制約するおそれがあると懸念を示す書簡を安倍晋三首相あてに送付しました。ケナタッチ氏は書簡で、「共謀罪」法案は他の法律と組み合わせると幅広い適用が行われる可能性があり、「プライバシーの権利やその他の基本的な国民の自由の行使に深刻な影響を及ぼす」と指摘しました。

特に、共謀罪の成立要件とされる「計画」と「準備行為」の定義が漠然としていることや、対象となる犯罪に明らかにテロや組織犯罪とは無関係な犯罪が含まれているといった問題点をあげ、どんな行為が処罰の対象になるか非常に幅広く解釈されるおそれがあり、刑法の原則として求められる「明確性」に適合していないとしています。

また、▽共謀罪を立証するためには監視を強めることが必要となるが、プライバシーを守るための適切な仕組みを設けることが想定されていない▽監視活動に対する令状主義の強化も予定されていないようだ—といった問題点も指摘しました。

特別報告者は、特定の問題を調査・報告するために国連の人権理事会が任命する独立の専門家。ケナタッチ氏はIT法の専門家で、2015年にプライバシー権に関する特別報告者に任命されました。」

政府は、これを重く考え、撤回すべきです。参議院で否決させるべく、運動を強めましょう。



頭

じえじえじえ！
長～～い蛇現わる！

今週の
パチリ

お隣で何やら騒がしい声。なんと青大将が軒下の燕のヒナ(卵?)を飲み込んで、親鳥が騒いでいたとのこと。夫が駆けつけると長～い蛇。尻尾をもって梅の木に投げ上げると驚いたようにスルスルと上に。顔を出したところをパチリ！長さは1m20cmはあったとのこと。しばらく眺めていましたが、屋敷神様なので、そっとしておきました。

ほっとステイ 盛んに交流

町商工会の中に「町づくり協議会ゆーゆー立科」という組織があり、立科の魅力都市部の子どもたちに体験してもらおうと交流事業を行っています。我が家も今年から参加、19日と24日と協力しました。横浜と千葉の中学2年生が5人ずつ、農村体験ということで我が家に来てもらいました。朝9時半から午後3時15分まで、昼食をはさんでの滞在です。前日は夫と「どんな体験をしてもらおうか」と打ち合わせ。19日は「草取り」「ジャガイモの芽欠き」とグラジオラスの球根の植え替えを、24日は「フキの収穫・皮むき」と「大豆の種まき」を経験してもらい、午後は我が家の石工房で「鉱物の観察とお話」「周辺の散歩」をメニュー化しました。

こちらが驚いたのは、子どもたちが作物の名前を知らないこと。「これ何かわかる？」と問いかけても、ほとんど答えが返ってきません。キュウリ・ナス・人参・にんにく・サツマイモなどの苗を見ることがないためでしょうか。又グラジオラスを知らない事にもビックリ。いちごや桃が収穫間際にハクビシンや狸に食べられてしまった話や食べられない工夫も紹介。



わら細工・オニヤンマの観察記録の説明を聞く



ご近所のオニヤンマ研究家・わら細工名人の家に。



鉱物の説明を聞く。



畑で作物の話聞く



田植えの様子を目近で見る

「草取りが大変だと思った」「作物を育てるのに大変な気配りや苦労があることが分かった」などの感想が寄せられました。ほんの1時間にも満たない作業ですが、農作物を育てる苦労や仕組みが判って、農業の大変さややりがいなどの理解が進むといいと思います。それにしても何百人という子供を受け入れ、各家庭に連絡をつけ、お願いするスタッフのみなさんのご努力には頭が下がります。



町を元気に
商工会総会
開かれる

5/21(日)オオルリシジミの観察会に参加

東御市八重原にあるシチズンファインデバイス株式会社の敷地内で食餌であるクララという植物を保護し、オオルリシジミの保護育成活動をしています。「オオルリシジミを守る会」も長年にわたって活動しており、その観察会が開かれるとの情報にさっそく参加。この蝶は東御市の天然記念物にも指定されており、その薄紫の姿は舞う宝石でした。クララに停まり卵を産み付ける様子も観察できました。白い卵は1mmにも満たないかわいいもの。クララの花穂の間にポチッと産みつけられています。社員も休みなのに大勢参加していました。



親子連れが大勢参加。



アカツメクサの蜜を吸うオオルリシジミ

(蝶の写真はシチズンファインデバイス株式会社のホームページより)

「相模原との交流が実って、ご夫妻が家を建てて移住されます」ご挨拶する竹花会長

多くの会員の出席の下、開かれた総会。ほっとステイ事業は昨年度は何と3,000人を超え、延べ約25,000人、そのうち2割は海外のお客様とのこと。

インバウンドも活用して、精力的に活動する商工会。前向きな取り組みは、皆で盛り上げたいものです。

スタンディングのお知らせ
当分毎週金曜日
午後5:30~6:00